

友情 の パーティー

「みんな楽しめるかしら？」
マヤはたずねました。



ジュリア・ウィラードソン

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

「社会的成長の目標をどうしたらいいかわからな
い」とマヤは言いました。ソファにすわ
ると、『子供のガイドブック』をパラパラとめくりま
した。

「小冊子にある目標のアイデアはどうなの？」とお
母さんがききました。

「かんげいするってアイデアは楽しそうだわ」
とマヤは言いました。「新しく来た人に自己しょう
かいをして、その人がほかの人とも交流できるよう
に助けるんだって。」

マヤは小冊子をよく見てみました。「でも、かん
げいできる人なんかだれも知らないの。お母さん、
一緒においのりしてくれる？」

お母さんはマヤのとなりにすわりました。「愛す
る天のお父様」と、マヤはおいのりしました。「だれ
をかんげいしたらよいか分かるように助けてくださ
い。イエス・キリストの御名によって、アーメン。」

おいのりの後、マヤは友達ジェイデンのことを
考えました。ジェイデンがおばあちゃんの家に来る
ときには、いつも一緒に遊んでいました。そして今、
ジェイデンとお父さん、弟、妹が、おばあちゃんの家
に引っ越して来たのです。

「ジェイデンはどうかしら？」マヤはお母さんにた
ずねました。「ジェイデンや弟や妹は、まだこの近所
の子供たちのことをよく知らないと思うの。かんげ
いできるかもしれないわ。」

「お母さんも同じことを考えていたのよ」とお母
さんは言いました。「どうしたらいいと思う？」

マヤは少し考えてから、「友情のパーティーを開い
たらいいかも！」と言いました。「初等協会の子供た
ちを招待できるわ。」

「それは楽しそうね」とお母さんは言いました。

マヤとお母さんはパーティーの日を決めました。
ジェイデンのお父さんに電話をして、初等協会の子
供たちに招待状を持って行きました。その後は、楽

しい計画を立てる時間です！ マヤとお母さんはゲー
ムをいくつか考えました。おやつやかざりをたくさ
ん作りました。

とうとうパーティーの日がやって来ました。マヤ
はジェイデンときょうだいみんなに会うのが楽し
みでした。

「みんな楽しめるかしら？」とマヤはたずねました。
「きっと楽しいと思うわ」とお母さんは言いま
した。

間もなくみんながやって来ました。ジェイデンと
弟と妹はにっこりと笑っています。ゲームをしたり、

おやつを食べたりして、新しい友達を作りました。
マヤはみんなと一緒に楽しい時間をすごしているの
を見てうれしくなりました。

「ありがとう！」パーティーの後でジェイデンが言
いました。「すごく楽しかったよ。」

マヤはほほえみしました。ジェイデンとその家族が
かんげいされ、愛されていると感じられるように助
けられたことをうれしく思いました。友情のパー
ティーはうまく行きました！ ●

このお話は、カナダでの出来事です。

イラスト：オルガ・リー



マヤはジェイデンのためにパーティーを開くというア
イデアをどのように考えつきましたか？ 立てたい目
標のアイデアを見つけるにはどうすればよいでしょ
うか？